

## お知らせ

★地域協議会では  
「メールマガジン  
「にぎわい通信」」  
により、研修会の開催や地域での活動情報など「農村まるごと」に関する情報を、ひと足早く発信して好評をいただいております。個人情報の管理は適正に行い、本対策にかかる情報配信以外の目的には一切使用いたしませんので、メールアドレスを地域協議会までご連絡ください。

### Mail

★皆様の「農村まるごと」に関する活動の様子や地域協議会に対するご意見・要望など何でも結構です。生の声をお待ちしています。この情報誌や、地域協議会のホームページなどで紹介させていただきます。



## 編集後記

★記録的で異常気象とまでいわれた猛暑の夏も過ぎ、ようやく過ごしやすくなりました。改めて自然の驚異を思い知られたような気がします。今年のような暑さは、何十年に一度の異常気象であって、毎年やってくるものでないことを心より願います。(A.W.)



## わたしたちもがんばっています！ パート2

高野の山里を愛する会（東近江市）  
代表 糟井 信吾



永源寺高野町は背後に高野山、手前に愛知川の清流を望む風光明媚などかな山里です。この高野に「昔の山里を甦らせたい」との願いから、2007年に通称

「高野の山里を愛する会」を結成し、手探りで始めた活動も3年目に入る頃からようやく軌道に乗り出したところです。

### [住民への理解・広報活動]

当初は、住民への理解を深めるため広報「高野の山里だより」を発行し、活動の主旨や「将来、高野をどう変えてゆくのか」といった記事に主体をおいてきました。今年度からは、集落全体の広報紙として主活動の他にお祭りやスポーツの記事、各種団体の活動、住民の声など幅広く地域の話題を取りあげ、2ヶ月おきに年6回の発行を予定しています。

### [活動の継続・定着化]

一度行った活動は出来るだけ継続するようにしています。中でも2008年に実施した「水土里ネット滋賀記念事業」の一

斉除草運動はその名も『水土里クリーン大作戦』と称して、毎年10月には八風温泉から紅葉橋を経て下



田井に至る約1kmの区間の水路土手を住民総出で一斉除草作業を行っています。

### [みんなでやる活動]

最初は、10名の推進委員からスタートしたこの活動も、今では30名を超えるほどになりました。

特に心強いのは、自治会を初め老人会、子ども会、女性会、ぜんの会、営農組合など全て



の団体が何らかの形で活動に係ってくれていることです。まさに子どもからお年寄りまで住民みんなの活動として成長しています。

住民の手作りで今年の春に完成したビオトープ「がおん井の池」や昔の手仕事を伝承する炭焼き窯を復活するなど『高野が変わる。みんなで変える』を合言葉に、高野に昔の山里の風景が戻ってくることを楽しみにしています。



## 滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>  
Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと  検索



栗栖まるごと保全隊（多賀町）



梨の里いしでら（彦根市）



加茂町水土里の郷づくり会（近江八幡市）

# まるごとだより 第16号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



## 目次

☆世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策中間評価について

☆わたしたちもがんばっています。パート1  
「春日エコ保全クラブ」（甲賀市）

☆栗東市の「まるごと」の取り組み（栗東市）

☆わたしたちもがんばっています。パート2  
「高野の山里を愛する会」（東近江市）

発行（2010.10）

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

〒521-1224  
東近江市林町601番地  
水土里ネット滋賀内  
電話 0748-42-4806  
FAX 0748-42-5574  
Email: kyogikai@shiga-nouson-marugoto.com

## 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策中間評価について

### ■中間評価の目的

中間評価では、これまで3年間の活動実績や皆さんからのアンケート結果を踏まえ、施策目的としている「農業水利施設等の長寿命化」、「みずすまし構想※の推進」、「農村地域の活性化」、「環境こだわり農業の推進」、「地域農業の振興」の視点から県の第三者委員会「農村まるごと保全推進委員会」の審議を経て、成果や課題を取りまとめました。中間評価結果は今後の推進のあり方の検討などに利用します。

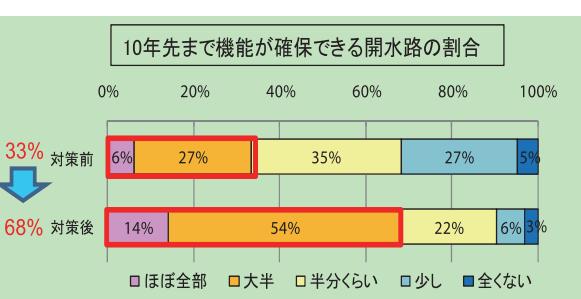
※農業生産性を維持しながら住民活動により農村地域の水質・生態系・景観保全の実現をめざす基本構想です。

### ■H19～21の実施状況 全国トップクラスの取り組みとなっています。

項目	H19	H20	H21
共同活動	活動組織数	771	790
	取り組み面積(ha)	32,380	32,929
営農活動	活動組織数	548	562
	取り組み面積(ha)	8,481	10,109

### ■成果1—農業水利施設等の長寿化が図されました。

水路の目地詰めや水路法面の補修などの農地・水・向上活動の適切な実施により、全体の7割の組織が「施設の機能が10年先まで確保出来た」と回答するなど、本対策が施設の長寿命化に大きく貢献しています。



### ■成果2—みずすまし構想の取り組みが農村地域全域に拡大しました。

適正な水管理、溝畔補強による水田からの漏水防止等が全域で取り組まれ、琵琶湖の水質は徐々に改善しつつあります。また、湖辺における魚のゆりかご水田や、中・上流域での冬期湛水など地域特性を活かした効果的取り組みが拡大しました。

景観形成については、コスモス等の植栽に取り組んだ地域では交流やコミュニケーションが生まれ農村がにぎわいました。こうした活動は、地域住民の農村環境保全意識の向上や、子どもたちの環境教育に大変役立っていると大半の組織から回答がありました。

### ■成果3—農村地域が活性化しました。

多様な主体による活動をとおして、地域住民の農業農村保全に対する意識の向上や地域の行事への参加意識の向上、集落間連携、地域リーダーの育成などにより地域コミュニティーが活性化しました。



## ■成果4—環境こだわり農業の取り組みが拡大しました。

本対策により、環境こだわり農業の取り組み面積は平成21年に対策前の5,960haから11,352haへと2倍に拡大し、減化学肥料や化学合成農薬の削減につながりました。

また、田植え前に強制落水はすべきでないという認識が約8割の農家に浸透していることがアンケート結果から明らかになりました。

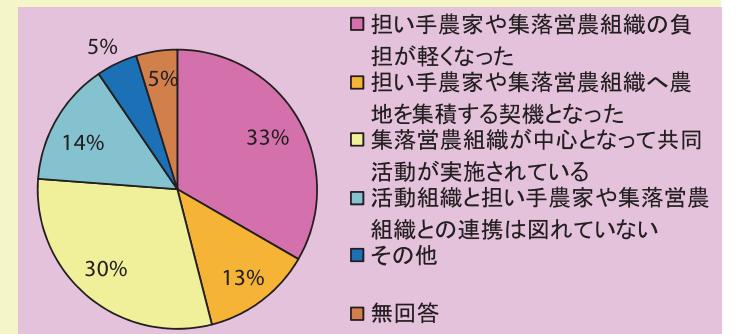
## ■成果5—地域農業の振興が図れました。

アンケートの結果から、共同活動をつうじて地域農業に対する住民の理解が深まつたという回答が約9割、本対策をきっかけに農産物の固定販売先が増加という回答が約3割、担い手農家や集落営農組織の負担の軽減、農地集積の促進に役立ったという回答が半数近くありました。

## ■課題を踏まえた今後の取り組み方針

過疎・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により農地・農業用水等の資源や農村環境の保全管理がますます困難になることが予想され、今後は、多様な主体の参画による質の高い取り組みを継続する必要があります。

このため、地域協議会では①施設の長寿命化のための質の高い保全活動、②地域特性を活かした環境保全活動の拡大、③環境こだわり農業の一層の拡大、④地域資源を活用した地域活性化、⑤環境こだわり農産物に対する消費者等の理解促進による農業振興に向け、皆さまの活動に対する支援を行っていきます。



## わたしたちもがんばっています！ パート1

春日エコ保全クラブ（甲賀市）  
代表 宿谷 栄一

わたしたちの集落は、甲賀市の一番北に位置する戸数110戸の農村集落です。協定農用地の90%が昭和40年代に整備されました。野洲川の最上流に位置しているため、ため池の他に地下水や排水を反復利用するなど用水の確保に苦労している地域です。



【生き物調査】

ため池の長寿命化を図っています。また、集落の中央を通る農道400mの区間を「あじさいロード」と名づけ、あじさい200本を植栽し、景観活動にも取り組みました。



【アジサイの定植】

「まるごと」の取り組みの共同活動部分は、取り組み以前から集落全戸の参加による農業施設の草刈りや泥上げ等の作業を年3回継続して実施しています。また、老人クラブや女性部、子ども会による清掃活動等も活発に行って農村集落の景観を美しく保つことが出来ています。新たな取り組みとしては、年1回、ため池の水を放流し、子ども会が生き物の生息調査と外来種の駆除を行った後、配水設備の点検や吸水槽の泥上げ等実施により排水路の修繕】



【反復池(吸水槽)の泥上げ】

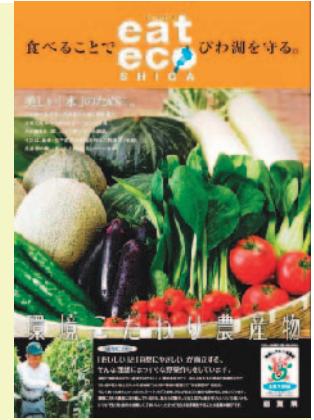
近隣に工業団地があり大半の農家の2種兼業化や、高齢化が進んだことで集落営農へ発展するきっかけとなり、平成19年に法人化に至りました。営農活動を担当する春日営農組合は、環境こだわり農産物の生産を積極的に進め、この7月にオープンした直売所「かすがの郷」での販売も軌道にのってきています。また、農閑期には老朽化した施設の点検や補修活動も行っています。



春日エコ保全クラブでは、これからも「子どもたちから高齢者まで生き生きと暮らす豊かな自然環境を！」をスローガンに集落がひとつになって農村環境の保全を続けていきます。



【排水路の修繕】



## 栗東市の「まるごと」の取り組み

栗東市 農林課

栗東市は、滋賀県の南部に位置し、本市の北部には野洲川、南部には金勝山を源とする金勝川が流れ、山間地から水田平坦地、市街地と、自然と都市部が融合した環境となっています。このような変化に富む環境の中で農業生産が営まれ、現在本市の「農村まるごと」放流等の取り組みが見られ、環境学習にも役立っています。

景観形成については、各組織とも創意工夫され、菜の花、レンゲ、ヒマワリ、コスモス等の作付により、四季を通して美しい花の景観を目にすることができます。また車道沿いの圃場畦畔にスイセンを植え付け、ドライバーの目を癒しています。

一方、営農活動においては、7組織、約54ヘクタールで取り組みが行われています。環境こだわり農産物は、水稻をはじめ栗東市の特産品であるイチジクや、葉茎菜類等が栽培されており、他府県へも出荷されています。水稻においては、自然豊かな金勝の清流を用水として栽培・収穫したものを“こんぜ清流米”的ブランド名で



と保全向上対策に取り組んでいる活動組織は15組織で、農振農用地面積の約56%にあたる318ヘクタールで活動が行われています。

共同活動では、役員の方々を中心に各施設の点検・機能診断が実施され、清掃活動や必要に応じた施設修繕により、農用地等の適切な維持管理が行われています。また、農業者による農用地法面等のこまめな草刈をはじめ、自治会・子供会・老人クラブによる清掃活動など、地域一体となった活動に取り組まれています。さらには草刈作業を低減するため、法面・畦畔へのカバーブランツ（ティフブレアやヒメイワダレソウ）の植栽を実施している活動組織もあります。

生態系保全の活動では、地域の子どもたちが参加し、川の生き物調査や



販売し、好評を得ています。こうした環境こだわり農産物の生産により、環境負荷低減に取り組まれています。

農村まるごと保全向上対策も4年目を迎えました。何かと課題を抱える事業ではありますが、各活動組織の方々には計画立案から事業実施、事業報告まで大変な苦労をおかけしながら取り組みに尽力いただいている。少子高齢化や混住化、農業所得の減少等々、農業を取り巻く状況は芳しくはありませんが、先代より引き継がれてきた農地・農業用水等の資源や自然環境を次世代へ引き継ぐため、当該事業の取り組みが大いに役に立つことを期待し、今後とも支援を行ってまいりたいと考えています。

## お知らせ

★人・生きものにぎわう農村フォーラム“2010”を開催します。

日時：H22.11.14(日)

13:00～

場所：野洲市比留田

豊穂の里総合センター  
さざなみホール

内容：

- ◎オープニングセレモニー『兵主太鼓による幕開け』出演：兵主太鼓保存会
- ◎フォトコンテスト・絵画コンクール表彰
- ◎基調講演
- NPO法人えがおつなげ代表理事曾根原久司さん『都市と農村をつなげ、農村を元気に！』



《プロフィール》  
1961年生まれ  
昭和60年明治大学政治経済学部卒業後、金融機関等企業経営の経営コンサルタントを経て、農山村地域の活性化を目指して、地域資源を活かした活動や人材育成などを支援。  
現在は、「えがお大学院」を設置し日本全国をフィールドに活躍中。

《主な役職》  
・山梨県立農業大学校講師  
・内閣府地域活性化伝道師  
◎パネルディスカッション  
「農村の未来を語る！」

【パネラー】  
堀 彰男さん（野洲市）  
松本 長治さん（長浜市）  
廣瀬 良一さん（高島市）  
【座長】  
小林 圭介さん  
(滋賀県立大学名誉教授)  
◆ご近所ご家族お誘い合わせの上、ぜひお越しください。